

国立大学附置研究所・センター長会議
第3部会(人文・社会科学系)シンポジウム

民主主義の行方

日時 2010年

11月5日(金)

PM1:00~PM3:30

会場

東京大学薬学系総合研究棟講堂

趣旨説明 司会

羽田 正 (東京大学 東洋文化研究所 所長)

報告

平等の政治哲学 —トクヴィルを読む

富永茂樹 (京都大学 人文科学研究所 教授)

民主主義と王制 —タイの場合

末廣 昭 (東京大学 社会科学研究所 所長)

民主主義とイスラーム

飯塚正人 (東京外国語大学 アジア・アフリカ言語文化研究所 副所長)

コメンテーター

田中明彦 (東京大学 理事・副学長)

参加費
無料
先着150名

国立大学附置研究所・センターは、我が国の学術研究の中核を担い、幅広い研究を先端的に推進するとともに大学院教育も実施し、研究者・技術者・高度知識人の育成に努めています。人文・社会科学系の研究所・センターで構成される国立大学附置研究所・センター長会議第3部会は、その役割と研究成果を広く一般に理解していただくため、毎年シンポジウムを開催してきました。

「民主主義の行方」と題する今回のシンポジウムでは、我々にとって身近な民主主義という概念や制度にあらためて焦点をあて、その歴史、現状、展望について、日本を代表する研究者が報告します。

問い合わせ先

東京大学東洋文化研究所 総務担当

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 TEL 03(5841)5869 又は 5833 shomu@ioc.u-tokyo.ac.jp